

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ
ロン D.バートン

RI第2510地区 留萌ロータリークラブ

会報

2013 ▶ 2014
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 集中と調和
会長目標

会長／中出敏彦 幹事／大嶋孝広

プログラム

- 本日
来賓卓話「留萌市の除雪計画」
留萌市役所 都市環境部・都市整備課
課長 補佐 前田 和宏様
土木第2係長 湯浅 俊之様
- 次週予定
夜間例会「年忘れ家族会」

会員誕生日
12月6日 西谷 英樹

No. 2584
第21回 12月4日

出席報告

前例会

会員総数	39名
出免会員	8名
出免出席	4名
基準会員出席	21名
出席率	71.42%

前々例会

第18回 11月13日

欠席会員	10名
内メイクアップ	6名
修正出席率	88.23%

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

1. 辻本哲也会員が留萌商工会議所の副会頭になりました。クラブより特別慶祝としてお祝いを差し上げます。留萌の為に頑張ってください。
2. 本日臨時理事会を開催し、会員増強委員会より提出された新会員候補者の会員選挙実施を承認いたしました。皆様方には後ほど幹事より封書が届きます。よろしく申し上げます。

👥 委員会報告

親睦活動委員会 高田委員長
12月11日開催の年忘れ家族会は、行徳副委員長が企画を考えておりますので楽しみにお待ちしております。なお、皆様にはすでにFAXにて出欠のお願いをしておりますが、まだ半数の方からの返事がございません。料理等の用意もごさいますので、ぜひ早めに出席人数をお知らせ下さい。

👤 幹事報告

- 砂川RCより12月例会案内を受領しました。
- 芦別RCより12月例会案内を受領しました。

📄 3分間情報

会員研修委員会 阿部委員長
2013年7月から本格的にスタートしている、未来の夢計画についてお話をしたいと思います。未来の夢計画とは、クラブと地区が実施する

第20回 11月27日(水) 天候/雪

人道的・教育的プロジェクトを支援するための、ロータリー財団の新しい補助金モデルです。ロータリーの活動で、補助金のプロセスを簡素化し、更に大きな成果をもたらす、公共による認識をさらに高める必要性が高まってきたことを受けて設定されました。

この新しい補助金はロータリーの戦略計画が掲げる5つの中核的価値観（奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ）に沿った活動を実施することで、地元や海外で人々に奉仕し、より良い世界を実現することを目指しています。

これまでの旧地区補助金D S Gやマッチング・グラントの枠を発展的に解消して、新たに地区補助金・グローバル補助金・パッケージ・グラントの3つの補助金を新設いたしました。

新地区補助金は旧地区補助金では使用目的が人道的プロジェクト、環境保全プロジェクトに限られていたところを、奨学金やV T T派遣にも使用する事が出来るようになり、世界中どここのプロジェクトでも使えるように生まれ変わりました。

グローバル補助金はマッチング・グラントと比べて、大きなプロジェクトに対応できるようになり、地区・クラブの意志がより反映された形でプロジェクトが実現できる補助金となりました。

パッケージ・グラントは、ロータリーと、地域社会で活動するN P Oから国連にいたるまで、共通の目的をもつさまざまなパートナーシップを結んでいる団体があらかじめ大枠を設定したプロジェクトに、クラブや地区が参加するタイプの補助金です。

変化の大きなポイントは「重点分野特化」「長期持続的な支援」「独自の活動を立ち上げる」です。なかでも、2010-11年度の国際協議会でステンハマー財団管理委員長が述べた「未来の夢計画は、ロータリアンの活動への資金提供に対する財団の思考転換を具体化したものです。未来の夢では、ロータリアンが地域のニーズを特定し、計画を立て、地域の人々と協力して最善の方法を決定した上で、プロジェクトを実行します。」という言葉のように、財団の思考転換

で、クラブの自発的な発想で活動できる幅が広がりました。これまでの、ともするとトップダウンな考え方から意識転換する必要性を財団がまずは提示しました。

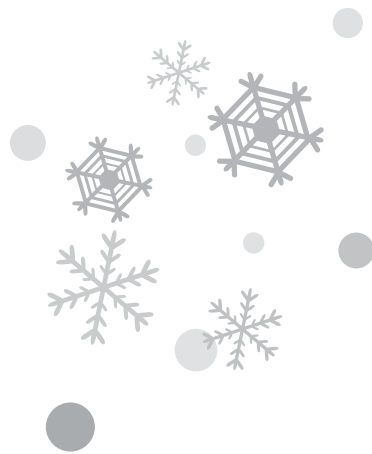
ここまで話して、仕組みが変わったことで、ロータリアンひとりひとりの意識も変化することが期待されているように感じております。今は個人的に知識が乏しく変化になんの反応もできないのが現実なわけですが、このことはしっかり意識しようと思っております。



ニコニコBOX

- なんだか良い事があったように思います。
高橋会員
- 商工会議所副会頭になってしまいました。
辻本会員
- クラブ活動報告書が完成し、私の年度の全てが終了しました。ありがとうございました。
山本会員
- 2012～2013年度活動報告書をお届け致します。
大変お世話になりました。 森(幹)会員

前 回	405,600円
今 回	37,000円
累 計	442,600円





プログラム.....

「年次総会」

会員総数 39名 (うち出免会員 8名)
出免会員出席 4名 / 基準会員出席 21名
本日出席率 71.42%

齋藤指名委員長により理事役員の指名あり。会員の賛成を経て理事役員を決定しました。

2014～2015年度理事役員



会 長
森 俊 二



直前会長
中 出 敏 彦



会長エレクト
西 谷 英 樹



副 会 長
渡 邊 裕 久



幹 事
西 谷 恭 治



副 幹 事
福 士 幸 子



会 計
辻 本 哲 也



会場監督
鈴 木 康 伸



理 事
二ノ宮 清 信



理 事
清 水 陞



理 事
森 幹 雄



理 事
阿 部 洋 一

アジアの時代がやってきた

2012 - 13年度、日本から田中作次氏が国際ロータリー (R I) 会長に就任しました。埼玉県・八潮ロータリークラブ (R C) 会員です。田中氏は、テーマに「Peace Through Service 奉仕を通じて平和を」を掲げ、その年度を通して、「平和について考えよう」と、全世界のロータリアンに呼びかけました。

アジアから選出された初めてのR I会長は、1962 - 63年度のニッティシ C. ラハリー氏です。インド・カルカッタR C所属で、「kindle the spark within 内部に火を燃やせ」をテーマに掲げました。「すべての人類は本質には同じであるからそこを良く認識し、真心と理性を和合せ人と人との連絡の下に世界の友愛を深めるよう努力することによって、先ず内部を固めて行こうというのであります」と宮脇富氏 (1953 - 54年度パストガバナー 札幌R C) は、このテーマについて述べています (『友』1962年7月号横組みP4)。

6年後の1968 - 69年度、日本からの初めてのR I会長、東ヶ崎潔氏 (東京R C) が就任しました。東ヶ崎氏がかけたテーマは「PARTICIPATE! 参加し敢行しよう!」。英文では、これが歴代のR Iテーマの中で一番短いテーマとして知られています。東ヶ崎氏は「ロータリーのために専念すればするほど、ロータリーから得ることも多いことは既に皆様ご承知の通りであります。ロータリーに直接参加し敢行することに対する報償は無限であります。私は皆様に、自らそれを体験なさるようお勧めいたすものであります」 (『友』1968年7月号横組みP4) と述べています。

東ヶ崎氏の後、しばらくアジアからのR I会長は選出されていませんでした。次に選出されたのが、1982 - 83年度の向笠廣次氏 (大分県・中津R C) です。テーマは「MANKIND IS ONE Build Bridges of Friendship Throughout the World 人類はひとつ世界中に友情の橋をかけよう」。向笠氏は「人類はひとつの大きな家族—すべての人間、すべての国民を含むひとつの大きな家族です。全家族の平和と幸福がなければ、個人の平和と幸福はありません」と述べています (『友』1982年7月号横組みP1)。

その後、アジアからのR I会長として、1986 - 87年度のM. A. T. カバラス氏 (フィリピン・マニ

ラR C)、1991 - 92年度のラジェンドラ K. サブー氏 (インド・チャンディガールR C)、そして、2002 - 03年度のピチャイ・ラタクル氏 (タイ・トンブリR C) が就任します。その頻度は、だいたい5 ~ 10年置きというところでしょうか。

ところが、2008 - 09年度に韓国から初めてのR I会長として、李東建氏 (ソウル漢江R C) が就任して以来、2011 - 12年度のカルヤン・パネルジー氏 (インド・バビR C)、2012 - 13年度の田中作次氏、来年度は台湾の黄其光氏 (台北R C) と、アジアからR I会長が頻繁に選出されるようになりました。

アジアからR I会長が続けて選出されること、それは、アジアのロータリーが大きく伸び、R Iの中で大きな役割を果たすようになったことの表れでしょう。インドは会員数で、日本を抜いて、世界で2番目となりました。韓国や台湾も会員数を伸ばしています。

残念ながら、日本は15年にもわたって会員数を減らし続け、会員数第2位の地位をインドに譲ることになりましたが、それでも、ロータリー財団に対する貢献度は2位を保っていますし、プロジェクトやロータリーについての知識など、他国のロータリーにひけを取ることのない素晴らしいクラブがあり、ロータリアンがいます。

それらに対する評価が、前年度、田中会長を生み、世界の多くのロータリアンたちが、その田中会長に期待を寄せてくださったことにつながったのではないのでしょうか。近年、日本のロータリークラブでは、会員増強が緊急の課題となっていますが、他国のロータリアンから信頼を得、尊敬される質の高いロータリーを維持することを忘れてはいけないと思います。

『友』編集長 二神 典子



「ロータリーの友 8月号」より

例会プログラム【12月】

12月11日(水) 夜間例会「年忘れ家族会」

12月18日(水) 来賓卓話「留萌地方特別支援学級南部ブロックの活動報告について」

南部ブロック委員長 北光中学校校長 木下 裕二様

南部ブロック長 北光中学校教諭 工藤 笑様

12月25日(水) バツツ例会